

新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて

当団体では新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン作成のため、全国にある自然体験活動団体とのネットワークを活かし、自然体験活動における感染症対策の情報共有を積み重ねガイドラインを策定しております。2020年8月よりコロナ禍での活動を継続して参りましたが、この間、参加者やスタッフには特に慎重に体調管理や健康観察にご尽力いただきました。

幸いなことに1件のクラスターも発生せずここまで活動を実施できております、今後も新型コロナウイルス感染症の特性や社会の現況を考慮し、必要に応じてガイドラインの見直しをすると共に子どもたちの体験活動の場を創出していきたいと思っております。

そのために以下の方法をみなさまには引き続きご確認、ご協力いただきたくお願いいたします。

◆参加条件について

下記項目に異常がある方（参加者・スタッフ等）は、参加いただくことができませんので、予めご了承ください、また、活動当日にチェックフォームより健康状態を把握させていただきます

- ・活動当日に、本人および同居家族に、37.5度以上または平熱比+1度以上の発熱、咳、倦怠感等の症状や味覚障害ならびに嗅覚障害が出ていない
 - ・本人が新型コロナウイルス感染症陽性と判断されていない
 - ・本人が新型コロナウイルス感染症陽性と判断された場合は、療養期間が終了している
 - ・本人が濃厚接触者と判断されていない、または感染の可能性がある認められない
 - ・本人が濃厚接触者または感染の可能性がある場合は、健康観察期間が終了している
- ※同居家族が陽性の場合はこちらに含まれます
- ・活動当日に本人が通う学校等（幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校・職場など）において「休園・休校」または通う学級・学年において「学級閉鎖・学年閉鎖」が実施されていない

◆活動中は参加者・スタッフが各自意識し行動する

- ・検温等の健康管理を徹底する
- ・活動で使用する物品は必要に応じて消毒洗浄をする
- ・人と関わる空間では一定の距離を置く
- ・室内活動において手指消毒の徹底をする
- ・室内活動においてこまめな換気をする

【マスクの着用について】

プログラム進行中にマスク着用を指定しない場合があります
(移動中の公共交通機関や不特定多数の人と飛沫圏内で交わる室内空間等は除く)

【活動中止・活動延期の自粛規定】

- ・緊急事態宣言に基づく「休業要請」が発令されたとき
- ・札幌市内および近郊の小中学校などが「一斉休校」になったとき
- ・その当団体代表者が必要性を認めたとき

【活動後 5 日間以内に参加者・スタッフが新型コロナウイルス陽性判定を受けた場合の対応】

※保健所の指導または客観的条件から、当団体の活動が感染に起因していると考えられる場合

- ①新型コロナウイルス罹患者は、当団体へその事実を報告する
- ②当団体は、当該活動の参加者へ情報提供する
- ③連絡を受けた他の参加者・スタッフは、事業終了後 5 日間健康観察に留意する

【付則】

本対策は、新型コロナウイルスにおける感染状況に応じて運営方針を見直し、必要に応じた変更をしていきます

【本件についてのお問い合わせ】

NPO 法人子ども共育サポートセンター

担当 長江 孝

050-5236-1221

kyouiku_info@kodomokyoku.org